



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

2023.11-12

No.461

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



『しらこぼと』の発行に長く携わっていると、今までの記録を調べたり確認したりする必要が出てくるときがあります。今月号は、そのような記録のあれやこれやをまとめてみました。

## ●特集記事(+α)の目録

- ・創刊号から200号：No.200号(2000年12月号) 特集のみの目録
- ・201号から248号：No.248号(2004年12月号) +αで野鳥記録委員会の記録も掲載
- ・249号から300号：No.300号(2009年4月号) 〃
- ・301号から400号：No.400号(2017年7月号) 〃
- ・401号から450号：No.450号(2022年1-2月号) 〃

\*創刊号以来のバックナンバーを読みたいときは

➔ 本会のHP ➔ 『しらこぼと』 ➔ 『バックナンバー』をクリック

\*野鳥記録委員会の記事を探したいときは

➔ 本会のHP ➔ 埼玉県の野鳥 ➔ 『しらこぼと』記事をクリック



\*とにかく、HPには今までの『しらこぼと』の記事が関連毎に満載されている。

## ●印刷や発行の歩み

- ・2014年5月号 No.361 p11 :「『しらこぼと』創刊30周年」
- ・2021年5-6月号 No.446 :毎月発行から隔月発行となる。関連記事 同年3月号 No.444 p5
- ・2022年7-8月号 No.453 p5 :「ネット印刷に変更します!」  
オフセット印刷からの変更。創刊号(発行所事務局)、No.2~16(印刷 埼玉印刷株式会社)、No.17~105(印刷 望月印刷株式会社)、No.106~452(印刷 関東図書株式会社)、No.453~(印刷 東京カラー印刷株式会社)
- ・2022年9-10月号 No.454 p16 :「会報の送り方を一部変更」  
会報のみの会員への送り方が、三種郵便から宅急便のDM便に変更された。それにともない、表紙最上段に掲載していた「第3種郵便物許可」等の文言を削除した。同時に、事務局で行われていた会報有志による会報の「袋詰め作業」がなくなった。

## ●日本野鳥の会とともに50年

- ・2009年4月号 No.300 p4 :「創刊300号記念寄稿『野鳥の会とともに50年』久保田忠資(狭山市)」
- ・2020年1月号 No.430 p2-3 :「新春特別インタビュー『日本野鳥の会入会50年、おめでとうございます』」

\*No.300号の久保田忠資さん、No.430号の松井昭吾さんご両人とも、多くの方々から敬愛されていた高野伸二さんとの出会いを熱く語っている。

\*右は、松井さん所蔵の高野さんが撮影されたノスリと直筆の添え書きである。



ノスリ (Japanese Sparrowhawk)  
1971. 1. 30  
高野伸二 撮影  
S. Takano

## ●年末講演会にお招きした講師の方々

・2022年7-8月号 No.453 p6 :「保存版 講演会の記録」(年末講演会)

\*2008年の谷口高司さんの講演は、2009年2月号 No.298 p2-4に「講演『フィールドガイド 日本の野鳥』前編」として、後編が同年3月号No.299 p2-3に掲載された。ここでも、高野伸二さんとの交流が熱く語られている。特に、後編の「高野図鑑」の原画に筆を入れる時の悩み、苦しみ、覚悟、そしてお墓参りをする谷口さんの心情に読み手の目頭が熱くなる。

\*2009年の唐沢孝一さんの講演は、2010年2月号 No.310 p2-3に「唐沢流・自然観察の楽しみ方」として掲載された。ちなみに、地人書館より『唐沢流 自然観察の楽しみ方—自然を見る目が一変する』が2014年に発刊されている。

## ●総会にお招きした講師の方々

・下記の表は、前述の「保存版 講演会の記録」の「総会講演会」版である。

### 日本野鳥の会・埼玉 総会講演会

年	回	講師(敬称略)	テーマ
1984			講演会なし
1985			講演会なし
1986	1	塚本洋三 日本野鳥の会常務理事	世界の鳥と日本の鳥とこの辺の鳥
1987	2	森下 強 日本野鳥の会企画事業部長	思いつくままに鳥の話
1988	3	塚本洋三 日本野鳥の会常務理事	日本野鳥の会の活動と展望
1989			講演会なし
1990			講演会なし
1991			講演会なし
1992			講演会なし
1993	4	高井健慈 日本野鳥の会保護部計画室室長	日本野鳥の会が推進するサンクチュアリ活動
1994	5	山口智彦 日本野鳥の会企画事業部	テーマ不明
1995	6	安西英明 日本野鳥の会普及部環境教育コーディネーター	探鳥会は地球を救う第一歩
1996	7	成末雅恵 日本野鳥の会研究センター	関東地方のカワウについて
1997	8	鈴木 寛 日本野鳥の会編集局	「野鳥」誌作りの現場から
1998	9	箱田敦只 日本野鳥の会サンクチュアリセンター普及室長	サンクチュアリセンターの人材育成
1999	10	岩下路子 日本野鳥の会会員センター業務室長	会員との接点・会員センターから見た野鳥の会
2000	11	黒沢令子 日本野鳥の会研究センター嘱託研究員	東京のカラスとその生態
2001	12	山本 裕 日本野鳥の会サンクチュアリセンター	三宅島の鳥たちは、今
2002	13	小坂正俊 日本野鳥の会総務部長	「二種類の隣接する居住環境における鳥類相の比較」 「最近の本部事務局再編等について」
2003	14	鈴木正男 日本野鳥の会常務理事	日本野鳥の会の今と未来
2004	15	景山 誠 横田 智 日本野鳥の会普及室	日本野鳥の会の普及事業の現状について
2005	16	山田泰広 日本野鳥の会自然保護室	IBA野鳥重要生息地事業について
2006	17	原元奈津子 日本野鳥の会総務室長	野鳥の会本部事務局の話あれこれ
2007	18	山本 裕 日本野鳥の会サンクチュアリ室	三宅島 2000年噴火からの自然の回復と野鳥たち
2008	19	斎藤英一郎 日本野鳥の会会員室会員グループチーフ	財団事務局で取り組んでいる会員拡大策
2009	20	安西英明 日本野鳥の会理事	鳥に学ぶ、男と女
2010	21	岡本裕子 日本野鳥の会普及室普及教育グループ	自然を守る仲間を増やす「グリーン・ホリディ」プロジェクト
2011	22	佐藤仁志 日本野鳥の会副会長	探鳥会のリスクマネジメント
2012	23	箱田敦只 林山雅子 日本野鳥の会普及室	箱田「トコロジストのすすめ」 林山「ヒナを拾わないでキャンペーンの絵本・紙芝居が完成しました」
2013	24	佐久間 仁 日本野鳥の会常務理事・事務局長	日本野鳥の会の知っているようで知られていない実情
2014	25	葉山政治 日本野鳥の会自然保護室長	鳥獣保護法の改正について
2015	26	安西英明 日本野鳥の会普及室主席研究員	「フィールドガイド日本の野鳥」新たな改訂のポイント
2016	27	堀本理華 日本野鳥の会普及室	支部と財団事務局の連携～裾野を広げた普及活動～
2017	28	遠藤孝一 日本野鳥の会常務理事	日本野鳥の会の活動について
2018	29	上原 健 日本野鳥の会常務理事	財団の活動と支部との連携について
2019	30	富岡辰夫 日本野鳥の会事務局長兼普及室室長	初心者向けバードウォッチングの成果と課題
2020			コロナ禍のため講演会なし
2021			コロナ禍のため講演会なし

2023年秋

## シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 調査部

日時 2023年9月9日 9:40~11:35

場所 さいたま市 大久保農耕地

天候 雨

関東甲信越地方は高気圧周辺から流れ込む湿った空気の影響で、調査中は雨でした。

例年通り、全体の半分以上の田は稲刈りが終わっていました。その稲刈りが終わっている田の半分以上で、刈り取り後の稲わらが浮く程度に水が溜まっていた。これは、台風13号による前日の雨の影響です。

観察されたシギ・チドリ類は2種15羽(タシギ属不明種は種数に入れない)で、昨年と比較すると種数は同じですが、個体数が28羽少なくなり、最近の10年間でも3番目に少ない記録となりました。観測史上一番暑い8月になったことが、関係しているかもしれません。(石井 智)

### 〈調査結果〉

	A区	B区	As区	A'区
ムナグロ	1			
タシギ	7			3
タシギ属不明種			3	1

### 〈秋のカウント結果〉

年	2019	2020	2021	2022	2023
調査日	9/16	9/21	9/20	9/11	9/9
天候		曇	快晴	晴	雨
1 ムナグロ	雨のため中止	1	3	37	1
2 タシギ		11	1	3	10
3 アオアシシギ		2			
タシギ属不明種		20	1	3	4
合計		34	5	43	15

※上の表は秋のカウント結果のうち、最近の5年間をまとめたものです。また、それ以前の記録は『しらこぼと』2012年12月号(No.344)と、2023年7-8月号(No.459)をご覧ください。

※表中の「タシギ属不明種」はタシギ以外のタシギ属のため、種数には入れませんでした。

## 50種目の 記念の鳥はキジでした

石原和子(川越市)



見た鳥が増えるたびにその鳥を描き留めています。その50種目の記念の鳥はキジでした。

私は鳥にはまったく興味がなかったのですが、ある日ベランダにきた鳥と目が合いました。なにか運命的な出会いを感じ、すぐに野鳥の会に入りました。ちょうど、一年たちました。

最初のころは、鳥に双眼鏡を合わせるだけでも時間がかかり、合ったころにはもう鳥が飛びたつたあと! 等々。

でもベテランの方々には本当に親切で、なんでもよくご存知で、どんどん鳥が好きになり、いままで鳥にまったく関心のない私の人生はなんだったのだろう! とさえ思います。

それでもなかなか鳥の名前は覚えられず、そこで思い付いたのです。

「そうだ、子供の頃から絵は好きだ! とにかく自分の目で見た鳥の絵を描こう! 」

その場でスケッチすることは出来ないのので、図鑑をみて描いています。難しくても「これでいいのかな」と思いながら描いています。おかしいところもあるかと思いますが、初めて見たときのワクワク感を込めて描いています。

そして、絵を描いていると鳥と対話しているような気持ちになり、描き終わった鳥とまた目が合うような気がするのです。



## 野鳥情報

### 蓮田市黒浜

◇1月20日、上沼周辺でベニマシコ♂若鳥1、沼でコガモ、カイツブリ、バン、オオバン、アオサギ、ダイサギ、カワセミ、ハシビロガモ♀2。下沼付近でノスリ、カシラダカ、ホオアカなど。1月26日、同所でコガモ40+、あわてて水面へ。上空にオオタカ出現。オオバン30、バン、タシギ2、ベニマシコ♀、♂若鳥。オオジュリンが目立つ。ノスリ飛ぶ。2月27日、オオタカ成鳥2が絡んで別れた。バン3、タシギ2、ベニマシコ♂1がセイタカアワダチソウの穂を啄んでいた。日野手緑地の地面で採餌するシロハラ♂1。ブッシュの奥でトラツグミ1。3月4日、ヨシ原のシジュウカラ群を見ていたらアリスイが出現するも、すぐにシジュウカラに追われた。他にノスリ、ハイタカ、ジョウビタキ、モズ、ツグミ、アカハラ、ホオジロ、オオジュリン、コガモ、バン、オオバン、カイツブリ、ダイサギ、アオサギ、カワセミ、カワラヒワなど(鈴木紀雄)。

### 蓮田市黒浜 国立病院機構東埼玉病院

◇1月20日、病院敷地内でシロハラ♀2が鳴き交わし。ヤマガラ、アオジなど(鈴木紀雄)。

### 白岡市 白岡市総合運動公園

◇1月27日、ヒドリガモがいないと思っていたら、周辺の田圃で採餌中だった。オナガガモをここで初認。他にマガモ、カルガモ、カイツブリ、アオサギ、モズ、ハクセキレイなど。2月21日。5羽のミヤマガラスの成鳥が、ハシボソガラス20+と一緒にケヤキの梢にとまっていた。他にヒドリガモ、マガモ、カルガモ、カワウ、ハクセキレイなど(長嶋宏之)。

### さいたま市岩槻区高曽根

◇1月28日、草原でホオアカ♂3、♀若鳥?1(色が薄く、汚い感じ)(鈴木紀雄)。

### 伊奈町 埼玉県立がんセンター

#### ～上尾鷹の台高校周辺

◇1月28日、シメ、シジュウカラ、ツグミ、エナガ、

コゲラ、アオジ、ホオジロ、モズ、メジロ、ウグイス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カイツブリ、カルガモ、キジ、シロハラ、コガモ、オオバン、カワセミ、アトリ、カワラヒワ、アカハラ、カシラダカ、オオタカ、コサギ、クイナ、アオサギ、ダイサギなど。3月21日、カワウ、カワラヒワ、モズ、ホオジロ、カシラダカ、ウグイス、アオジ、キジ、ツグミ、ヒバリ、ツバメ、カルガモ、カケス、コゲラ、コサギ、アオサギ、ダイサギ、ヤマガラ、エナガ、シメ、オオタカ、カイツブリ、メジロ、オオバン、バン、カワセミ、ヒドリガモ、ジョウビタキ、セグロセキレイなど。つつじ苑方面から賑やかな声が聞こえてきたので様子を見ているとコチドリ13が調整池に降りてきた(村越百合子)。

### さいたま市緑区上野田

◇1月28日、用水の狭い範囲にコガモ♂6♀4、タシギ5(鈴木紀雄)。

### 蓮田市 西城沼公園周辺

◇1月29日、シロハラが鳴きながら足元から飛び立った。今季ここでの初認。砂利道で2羽のアオジが採餌。今季ここでの初認。最近、カラスが少なくなって、ゴミ集積場が荒らされなくなった。他にカルガモ、カイツブリ、コサギ、モズ、オナガ、シジュウカラ、ウグイス、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイなど。2月20日、ハクセキレイの番い形成ができたようだ。2羽のメジロが白梅の蜜を忙しく吸っていた。2月28日、ハシボソガラスが小枝を運んでいた。造巢を始めたようだ。他にカルガモ、コゲラ、モズ、オナガ、シジュウカラ、ウグイス、シロハラ、ツグミなど。3月6日、シジュウカラが囀りを5～6回繰り返すようになった。スズメの数が少なくなった。3月11日午前7時30分、ウグイスの初音を聞く。今季ここでの初認。(長嶋宏之)。

### 上尾市平方

◇1月30日、キウイフルーツ畑の側を通った時、枯れ草を踏み締め、かき分ける沢山の音が聞こえたので足を止め、そっと覗いて見る。オナガ、スズメ、シジュウカラ、メジロ、ムクドリ、ヒヨドリが落下した果実や虫を探し食べていた。渡来が遅れていたツグミを複数確認できた(村越百合子)。

## 松伏町大川戸

◇2月1日、まつぶし緑の丘公園の里山ゾーン  
のニシオジロビタキは1月8日と同様に活発  
に動き回っていた。大落古利根川では、ク  
サシギ1、イソシギ1。常連のイカルチドリを  
探すと、それらしきチドリが見つかったが、ス  
コープでよく見ると、嘴や足が長くない。どう  
やら越冬したらしいコチドリのようなだ(高田  
範之)。

## 深谷市中瀬

◇2月1日午後2時頃、利根川の上武大橋と  
新上武大橋の中間辺りの右岸、埼玉県側  
の河川敷でケアシノスリ幼鳥1羽(下写  
真)。車の中から撮影した(黒澤 晃)。



◇2月18日午前9時30分～11時、ノスリ4～  
5、ミサゴ1、カオジロガビチョウ12の群れ、ホ  
オジロ、カシラダカ。新上武大橋の近くでケ  
アシノスリ幼鳥1、しばらくホバリングをして  
いたが、群馬県側に飛んでいった。次頁左  
上写真の本庄市下仁手のケアシノスリとは  
別の個体(藤原寛治)。

## 春日部市飯沼

◇2月3日、タゲリ2、田圃で餌を啄ばみ、上空  
をヒラヒラ飛んでいた(橋口長和)。

## さいたま市緑区 トラスト保全第1号地周辺 ～見沼自然公園

◇2月4日、トラスト1号地周辺でモズ、カケス、  
セグロセキレイ、ハクセキレイ、メジロ、コジュ  
ケイ、コゲラ、エナガ、シジュウカラ、カルガ  
モ、カワラヒワ。見沼自然公園でヒドリガモ、  
カイツブリ、シメ、ウグイス、オオバン、オナガ  
ガモ、カワセミ、ホオジロ、カシラダカ、コガ  
モ、アオジ、バン、オオタカ、アオサギ5、常緑  
樹林帯にてアオサギのペアがマイホームの

場所探しを始めていた。公園側バス停で待っ  
ている際、向かい側の常緑樹の薄暗い場  
所のフェンスにゴイサギが舞い降りて、しば  
らく休憩していた。3月12日、トラスト第1号  
地～見沼自然公園でウグイス、ヤマガラ、カ  
ケス、シジュウカラ、シメ、カワラヒワ、メジロ、  
オオタカ、ホオジロ、カシラダカ、シロハラ、ヒ  
バリ、オナガ、モズ、ツミ、アオジ、コジュケイ、  
ツグミ、エナガ、ジョウビタキ、コゲラ、ピンズ  
イ、カワセミ、コガモ、バン、オオバン、ヒドリガ  
モ、セグロセキレイ、カワウ、コサギ、オナガ  
ガモ、雑木林にアオサギのペアなど(村越  
百合子)。

## 川島町出丸中郷(53397452)

◇2月5日、カワセミ、シジュウカラ、メジロ、ツ  
グミ、ジョウビタキ、アトリ、カワラヒワ、シメ、  
カシラダカ(白化個体)、アオジなど(嶋田  
富夫)。

◇2月9日。林の中の小さな水溜まり、カワセミ  
が何度もダイビングを試みていた。何かが  
傍らを走り抜けた。ニホンイタチの様だっ  
た。他にコゲラ、モズ、シジュウカラ、アトリ、  
白化カシラダカなど(長嶋宏之)。

## さいたま市桜区 秋ヶ瀬公園

◇2月5日、こどもの森でシロハラ♂1♀1、ミヤ  
マホオジロ♂1、ルリビタキ♂1。三ツ池の  
方でトラツグミ1、竹やぶから出てきた(藤原  
寛治)。

◇3月11日、こどもの森でヒレンジャク4、ヤドリ  
ギの実にとまったり、地上に降りたり。「チリリ  
…」とか細かい声。そして「ヒ～ヒ～」と物哀し  
い声で鳴く。ウグイスの囀り。ピクニックの森  
でアカゲラ♂1。ウグイス2とジョウビタキ♀1  
が1本の木に(鈴木紀雄)。

## さいたま市南区 笹目川

◇2月7日、瓶尻橋～内谷橋でアオサギ、ダイ  
サギ、コサギ、オオバン、コガモ、カルガモ、  
カワセミ、ハクセキレイなど(陶山和良)。

## 久喜市菖蒲町小林

◇2月7日、電線や木など3ヶ所に全体で約40  
羽のニュウナイスズメ(鈴木紀雄)。

## 本庄市下仁手(54393107)

◇2月6日、マガモ、カルガモ、コガモ、カワアイ  
サ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、トビ、ハイイ

ロチュウビ、ノスリ、ケアシノスリ(下写真)、シジウカラ、ハクセキレイ、ホオジロ、カシラダカ、アオジなど(嶋田富夫)。



◇2月12日、川の中州の上空をノスリが旋回。ハイタカが小鳥を追い、ケアシノスリがホバリングした。他にアオサギ、ダイサギ、カワラヒワなど(長嶋宏之)。

#### 草加市柿木町 そうか公園

◇2月11日、オカヨシガモ♂3♀1、ハヤブサ若鳥1、ムジセッカ1。2月18日、ハイタカ♂1、ムジセッカ1。2月23日、26日、ムジセッカ1。3月21日、ハイタカ1、カワセミ1、ムジセッカ1(鈴木 功)。

◇2月14日、公園の北縁辺りでムジセッカ1、松の木の梢を飛び回ったり、葉の中を動いたり、フライングキャッチしたり活発に活動する。弱々しい「チャッチャッ」或いは「タッタッ」と地鳴き。時折、地面や草むらにも降りた。他にキセキレイ、シジウカラ、メジロ。池でオナガガモ、ヒドリガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバンなど(鈴木紀雄)。

#### 蓮田市 山ノ神沼

◇2月12日、ヒドリガモ2、マガモ37、カルガモ31、コガモ28、カイツブリ、カワウ2、アオサギ、オオバン、モズ、ツグミ、ハクセキレイ、カワラヒワなど(嶋田富夫)。

#### 加須市下高柳(54391439)

◇2月16日、花崎多目的遊水地でマガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イソシギ、カワセミ、コゲラ、モズ、ウグイス、メジロ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、アオジ、オオジュリンなど(嶋田富夫)。

#### 川越市寺尾 新河岸川

◇2月17日、旭橋下流でヒドリガモ、アメリカヒドリ、カルガモ、カイツブリ、ダイサギ、バン、オオバン、モズ、ツグミ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。

#### 富士見市鶴馬(53396424)

◇2月17日、ヒヨドリ、白化ヒヨドリ(下写真)、メジロ、ツグミ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。



#### さいたま市桜区 鴻沼川

◇2月18日、新開歩道橋下流でマガモ、コガモ、カルガモ、オオバン、コサギ、ジョウビタキ♂、ハクセキレイ、ツグミなど。ツグミ、ジョウビタキの美しい色合いを間近に見て自然の素晴らしさを感じた(陶山和良)。

#### 三郷市 江戸川第三運動公園周辺

◇2月18日、第三運動公園北のゴルフ場の池にカワウ、カルガモ69、ミコアイサ♀1、オオバン2。第三運動公園とその周辺で上空をタシギ5が通過。アオサギ、トビ、ノスリ、コムズク、モズ、ツグミ、カワラヒワなど(長嶋宏之)。

#### さいたま市岩槻区 岩槻文化公園

◇2月20日、元荒川でセグロカモメ1。冬羽から夏羽に移行中のカシラダカ。オオタカ成鳥出現。3月4日、シロハラ♂が地面で採餌。元荒川でセグロカモメ1。オナガ3。3月20日、キジ(声)、カルガモ、コガモ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ヒクイナ(声)、コチドリ2、トビ(ディスプレイフライト)、カワセミ、コゲラ、モズ、ウグイス(囀り)、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シメ、ホオジロ、アオジ。3月24日、ツバメ♂1飛翔。ジョウビタキ♀1。公園の北のキヅタにヒレンジャク13(鈴木紀雄)。

#### 上尾市 丸山公園

◇2月20日、マガモ、カルガモ、カワウ、アオサ

ギ、ダイサギ、タシギ、オオタカ、カワセミ、モズ、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジなど。2月27日、マガモ、カルガモ、カワウ、タシギ、トビ、ハイトカ、カワセミ、シジュウカラ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カシラダカ、アオジなど(嶋田富夫)。

#### 伊奈町小室トラスト保全第13号地

◇2月22日、エナガ、アオジ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、メジロ、シジュウカラ、シメ、カワラヒワ、コゲラ、モズ、ヤマガラ、ホオジロ、ルリビタキ、シロハラ、カケス(村越百合子)。

#### 越谷市 越谷レイクタウン

◇2月23日、カンムリカイツブリ5。3月21日、カンムリカイツブリ2、カワセミ1、ベニマシコ2(鈴木 功)。

#### さいたま市岩槻区太田

◇2月23日、テンボが次第に速くなり、音程は下がるツミの声が1回だけ響く(鈴木紀雄)。

#### さいたま市北区日進町 番場公園周辺

◇3月5日、シジュウカラ、ダイサギ、カイツブリ、カルガモ、オオバン、カワセミ1ペア、ツグミ、ハクセキレイ、バン2ペア、アオジ、カワウ、ジョウビタキなど(村越百合子)。

#### さいたま市北区奈良町 三貫清水

◇3月5日、セグロセキレイ、コガモ、ウグイス、アオサギ、トウネン、ヒドリガモ、オカヨシガモ、ホオジロ、コゲラ、カワラヒワ(村越百合子)。

#### 上尾市 戸崎公園

◇3月5日、コサギ、カケス、エナガ、オナガ、カシラダカ(村越百合子)。

#### さいたま市岩槻区柏崎(53397525)

◇3月6日午後、鳥見をしながら散歩。ケヤキの樹冠部に5~6羽の鳥がいた。シメかなと思ったが、ヒレンジャクだった。しばらくの間見られた。オオタカ、ハヤブサも飛び、良い日になった(田村 豊)。

#### 春日部市下大増新田 夢の森公園

◇3月7日、オオバン、ホシハジロ♂2♀2、ハシビロガモ♂1、カイツブリ2、カルガモ、コガモ、タシギ2、ヒクイナ1、オオジュリン、ホオジ

ロ、アオジ、カシラダカ1、モズ、ツグミ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ヒバリ、アオサギ10飛翔(鈴木紀雄)。

#### さいたま市大宮区 大宮公園

◇コサメビタキ1が越冬した。初認は2022年12月1日、終認は2023年3月10日で、この間継続的に大勢の人が観察、写真撮影を行った(森本國夫)。

#### 所沢市 狭山湖

◇3月15日、トモエガモ80±。今季は最大500羽近いトモエガモが越冬。他にマガモ、コガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、ミサゴなど。(石光章)

#### 日高市北平沢

◇3月15日、北平沢周辺の沢筋でシロハラ♂、カケス3、ミソサザイ3。ガビチョウとソウシチョウが多い。池でオシドリ50(鈴木紀雄)。

#### 川越市 伊佐沼

◇3月15日、カルガモ20、ヒドリガモ100の群れにアメリカヒドリ雑種♂1、コガモ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、カワウ、コチドリ10+、オジロトウネン1、冬羽のツルシギ1(鈴木紀雄)。

#### 川越市上寺山

◇3月15日、電線にツバメ♂1、今季初認(鈴木紀雄)。

#### 春日部市 大池親水公園

◇3月16日、ウグイスが名調子で鳴いていた。サカツラガン8がキンクロハジロ35と一緒に泳いでいた。他にカルガモ、コガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ウグイスなど(長嶋宏之)。

#### 鴻巣市逆川二丁目

◇3月20日午後4時50分頃、ツバメ1が目の前をスイッと横切る。当地今季初認(榎本みち子)。

#### 鴻巣市大間一丁目

◇3月27日午前7時30分頃、ツバメ1が鳴きながら飛ぶ。当地今季初認(榎本秀和)。

#### 表紙の写真

スズメ目ヒタキ科サメビタキ属コサメビタキ

2023年9月24日、草加市青柳6丁目で撮影しました。

鈴木 功(草加市)





## 行事案内

**要予約**と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に氏名・住所・電話番号などを記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーやベテラン会員たちが望遠鏡で見せてくれます。**体調を整えてご参加ください。**



ユリカモメ(石原和子)

**参加費**：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

**持ち物**：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻**：特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

### 千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期 日：1月6日(土)

集 合：午前9時30分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。注：JR船橋駅での受付はしません。

交 通：JR武蔵野線 南浦和7:50→西船橋で総武線8:42に乗換え、船橋8:45着。京成バス9:00発 船橋海浜公園行に乗り、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。

担 当：菱沼(一)、浅見(徹)、佐久間、佐野、杉本  
見どころ：ミヤコドリ、ミュビシギは県内では観察できません。この機会にライファーをふやしませんか？ 運がよければ！

### 松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期 日：1月7日(日)

集 合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交 通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バスまつぶし緑の丘公園行8:27発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担 当：佐野、石川(光)、富田(英)、富田(由)、長野、橋口、山部

見どころ：公園の池には今年もミコアイサが来ているでしょうか？ 周辺の田んぼではミヤマガラスが見られるかも！

### 深谷市・仙元山公園探鳥会

期 日：1月8日(月・祝)

集 合：午前9時、JR高崎線 深谷駅南口ロータリー。

担 当：新井、大畑、小淵、関口、高橋、千島  
見どころ：唐沢川でカワセミが、仙元山ではトラツグミがお出迎え。といけば最高ですが。

### さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会 **要予約**

期 日：1月13日(土)12/16からHPで

集 合：午前9時、さぎ山記念公園芝生広場付近。

交 通：大宮駅東口⑦番バス乗り場国際興業バス浦和学院高校行8:25発で「さぎ山記念公園」8:48着下車。

募集人数：20名 一般可

担 当：大井、浅見(健)、浅見(徹)、菅野、小林(み)、富田(英)、富田(由)、森本

見どころ：近距離でカモ類が見られます、また冬鳥の地鳴きをじっくり聞きたい方、是非ご参加ください。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期 日：1月13日(土)

集 合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交 通：A.春バス(コミュニティバス)が便利です。(1)東武野田線豊春駅西口8:06発→内牧公園8:21着 ※帰路は内牧公園12:23発→12:38豊春駅西口、(2)東武伊勢崎線北春日部駅西口8:38発→内牧公園8:50着 ※帰路は、内牧公園14:25発→14:37北春日部駅西口。または、B.東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナス行8:41発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。※帰路

は上記バス停13:07、14:47発。  
担 当：石川(敏)、青山(美)、佐野、中村(直)、長野、橋口、別井、三好  
見どころ：雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林を巡り、小鳥(冬鳥)を探鳥。昨年は冬鳥が少なかったが、今年は???

### 埼玉Young探鳥会@渡良瀬遊水地

期 日：1月13日(土)《暫定※》  
担 当：廣田  
※詳細はHP・SNSに12月中に掲載します。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：1月14日(日)  
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。  
交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。  
解 散：正午ころに野鳥の森池周辺で。  
担 当：千鳥、新井、大畑、関口、高橋、中川、山本(恵)、茂木  
見どころ：ジョウビタキ、カシラダカ、アオジ、アトリ、河原でノスリ、野鳥の森にルリビタキ、クロジがいてくれると良いのですが。

### 羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期 日：1月18日(木)平日  
集 合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。  
交 通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キヤッセ羽生・水郷公園」下車。県道を渡り公園へ。  
共 催：羽生水郷公園管理事務所  
担 当：相原(修)、相原(友)、新井、関口、中川、長嶋、細田、茂木  
見どころ：静かな公園で冬鳥を! ヨシ原のオオジュリンやベニマシコ、池のカモ類、上空のタカ類を探しましょう。アリスイは?  
ご 注 意：帰りのバスは14:50発です。

### 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期 日：1月20日(土)  
集 合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。  
交 通：東武線館林行 新越谷7:23春日部7:38→東武動物公園7:43で南栗橋行に乗り換え→南栗橋7:54着で東武宇都宮行に乗り換え→柳生8:10着。

またはJR宇都宮線下り大宮7:27→栗橋7:55着で東武日光線に乗り換え→柳生8:10着。遊水地への標識に従って中央エントランスへ。

解 散：正午ころ、谷中村史跡ゾーンで。  
担 当：佐野、浅見(徹)、木村、小林(み)、瀬尾、野口、別井、山本(恵)、山本(巧)  
見どころ：冬鳥が出そろい遊水地は最も賑やかな季節。谷中湖ではカモやアイサ類、ヨシ原ではオオジュリンやカシラダカ。  
ご 注 意：防寒対策は万全に。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：1月21日(日)  
集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。  
交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス1番乗り場 さいたま市立病院行8:21発で終点下車。  
後 援：さいたま市立浦和博物館  
担 当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、菅野、楠見、小菅、須崎、富田(英)、富田(由)、中橋、畠山、三好  
見どころ：身近な鳥たちやツグミ、シメなどの冬鳥。どこで、何を食べて、厳しい冬を過ごしているのでしょうか?

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期 日：1月28日(日)  
集 合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。  
交 通：西武新宿線 本川越8:40発、または所沢8:38発に乗車。  
解 散：正午ころ、稲荷山公園で。  
担 当：長谷部、石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、瀬尾、中村(祐)、山口、山本(真)  
見どころ：カモや冬の小鳥たちを探します。

### 長瀬町・長瀬探鳥会

期 日：1月28日(日)  
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 長瀬駅前。  
交 通：秩父鉄道 御花畑8:57発、または寄居9:15発(熊谷8:44発)に乗車。  
担 当：井上、小林(み)、佐久間、佐野  
見どころ：寒さ本番です、赤い鳥・青い鳥、イカル、アオゲラを期待しましょう。  
そ の 他：長瀬駅から蓬莱島公園まで歩く予定。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期 日：2月3日(土)

集 合：午前9時30分、西武狭山線 西武球  
場前駅前。  
解 散：正午ころ、狭山湖堤防で。  
担 当：石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、長  
谷部、持丸  
見どころ：狭山湖のベスト・シーズン。カイツブリ類  
やカモ類の他、林の鳥も楽しめます。

### 嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期 日：2月3日(土)  
集 合：午前8時40分、東武東上線 武蔵嵐  
山駅西口。または午前9時15分、県  
立嵐山史跡の博物館駐車場。＊博  
物館駐車場は博物館利用者専用で  
すので、駐車できません。  
交 通：東武東上線 川越8:00発、または寄居  
7:51発に乗車。  
解 散：正午ころ都幾川桜堤公衆トイレ付近で。  
担 当：千鳥、新井、今村、関口、中村(豊)、  
持丸、山本(恵)  
見どころ：雑木林でカラ類、イカル、シメ、シロハ  
ラ、アオジ、河原でクサシギ、イカルチド  
リ、猛禽も飛ぶでしょう。

### さいたま市・ 民家園周辺定例探鳥会

要予約

期 日：2月4日(日) 1/7からHPで  
集 合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園  
駐車場、念仏橋バス停前。  
交 通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川  
口駅北口行8:37発で「念仏橋」下車。  
募集人数：20名 一般可  
担 当：大井、須崎、伊藤、菅野、手塚、中橋、  
野口、藤田  
見どころ：地鳴きを聞いてベニマシコ発見。2月  
は調節池のベストシーズンです。  
ご 注 意：コースの途中にトイレはありません。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期 日：2月4日(日)  
集 合：午前9時、北本自然観察公園・埼玉  
県自然学習センター玄関前広場。  
交 通：JR高崎線 北本駅西口から、北里大  
学メディカルセンター行バス8:38発で  
「自然観察公園前」下車。  
担 当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋  
葉、浅見(徹)、大畑、近藤、柴田、関  
口、永野、山本(恵)、吉原(早)

見どころ：林に池に冬鳥を探します。空には猛  
禽も出るでしょう。

### さいたま市・秋葉の森総合公園探鳥会

期 日：2月7日(水) 平日  
集 合：午前9時30分、公園内管理棟付近。  
交 通：西大宮駅バス乗り場から「西大02」わ  
くわくランド行9:02発、または、大宮駅  
西口⑧番バス乗り場から「大62」リハ  
ビリセンター行8:42発で、どちらも「秋  
葉入口」下車、徒歩約15分。  
担 当：近藤、青木、浅見(健)、浅見(徹)、石  
塚(敬)、今村、藤田、村越、山下  
見どころ：去年はアトリ10羽の群れに遭遇。自然  
保護ゾーンを中心にゆっくり“気長に”  
冬鳥たちを観察しましょう。  
帰りのバス：下車したバス停から12:03発(大宮  
駅)12:14発(西大宮駅)

### さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期 日：2月10日(土)  
集 合：午前9時、JR宇都宮線 土呂駅東口。  
または午前9時20分、市民の森入口  
前(土呂駅東口から徒歩約5分。駐  
車場あり)。  
解 散：正午ころ、市民の森入口付近で。  
担 当：青木、浅見(健)、浅見(徹)、小林  
(み)、近藤、三好、山田  
見どころ：見沼たんぼの一番北側の探鳥会。  
駅から歩けます。冬鳥いっぱいの子  
節です。ビギナー担当がいますので  
安心してお越しください。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：2月11日(日)  
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。  
交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居  
8:53発に乗車。  
解 散：正午ころに野鳥の森池周辺で。  
担 当：茂木、新井、大畑、関口、高橋、千鳥、  
中川、山本(恵)  
見どころ：冬鳥があちこちで元気に飛び交い、  
ジョウビタキ、ツグミの鳴き声が聞こえ、  
他の小鳥たちも猛禽類を注意しなが  
ら現れるかも。

### 狭山市・智光山公園探鳥会

要予約

期 日：2月12日(月・祝) 1/15からHPで

集 合：午前9時15分、智光山公園管理事務所前。

交 通：西武新宿線 狭山市駅西口から、智光山公園行8:49発西武バスで終点下車。

募集人数：30名 一般可

担 当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、山本(眞)

見どころ：カモ類等の水鳥や林地の冬鳥等を効率的に観察できる都市公園です。

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期 日：2月14日(木)平日

集 合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

交 通：東武伊勢崎線 春日部8:11→久喜8:30→花崎8:37。またはJR宇都宮線 大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

解 散：正午ころ、現地で。

共 催：加須はなさき公園管理事務所

担 当：茂木、相原(修)、相原(友)、石川(敏)、長嶋、別井

見どころ：青毛堀川沿いから園内を歩きます。水辺にカモ類、林では冬鳥のツグミ、シメ、カワラヒワなど。上空の猛禽類にも注目。

### 上尾市・丸山公園探鳥会

期 日：2月17日(土)

集 合：午前7時50分、丸山公園南口入口付近。

交 通：JR高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場から[尾32] 西上尾第二団地経由リハビリセンター行7:26発で「丸山公園入口」下車、徒歩約5分。

解 散：11時30分頃、集合地付近で。

担 当：近藤、秋葉、浅見(健)、浅見(徹)、柴田、瀬尾、永野、村越、山下、吉原(早)

見どころ：昨年はベニマシコ、トラツグミなど37種。小鳥たちの春への準備を観察。

ご 注 意：帰りは下車したバス停から11:50発。

### 埼玉Young探鳥会@芝川第一調節池

期 日：2月17日(土)《暫定※》

担 当：廣田

※詳細はHP・SNSに1月中旬に掲載します。

### さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期 日：2月17日(土)

集 合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道16号側駐車場。

交 通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から朝日バス8:43発しらこぼと水上公園行で「村国入口」下車。バス停からご案内します。

担 当：長野、青山(美)、石井(健)、石川(敏)、内田、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋、藤原

見どころ：トイレ完備のコース。アオジ、シメ、ツグミなどの冬鳥をじっくり観察しましょう。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：2月18日(日)

集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス1番乗り場 さいたま市立病院行8:21発で終点下車。

後 援：さいたま市立浦和博物館

担 当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、菅野、小菅、小林(み)、富田(英)、富田(由)、中橋、島山、三好

見どころ：ツグミ等の冬鳥達が渡りの準備を始めます。春の気配を感じましょう。

### 志木市・柳瀬川探鳥会

期 日：2月18日(日)

集 合：午前9時、東武東上線 柳瀬川駅西口のスーパーサミット前の円形広場。

解 散：正午ころ、旧村山快哉堂付近。

担 当：鈴木(秀)、神場、志村、中村(治)、中村(祐)、藤澤、持丸、山口、山下

見どころ：渡りのカモ、群れるイカルチドリ、旋回する猛禽にも期待。

### 本庄市・坂東大橋探鳥会

期 日：2月25日(日)

集 合：午前9時20分、坂東大橋南詰近くの「つきみ荘」北側。

交 通：JR高崎線 本庄駅北口から国際十王バス伊勢崎行9:07発で「坂東橋南詰」下車。

担 当：新井、大畑、小淵、関口、高橋、千鳥

見どころ：勢揃いしたカモ達。猛禽にも期待。



**3月19日(日) さいたま市 三室地区**  
**参加:46(会員33)名 天気:晴**

キジ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、バン、オオバン、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(28種)(番外:ドバト) チョウゲンボウとヒバリがよく出現してくれた。メジロは春の鳥では無いのだが、なぜかメジロを見ると春を感じてしまうのは私だけかな? カモはコガモが残っているだけで他の渡りガモは既にもいない。冬鳥のツグミ・シメ・ジョウビタキも見ることが出来たが、来月はもういないだろう。また冬に会えることを願いつつ終了。(青木正俊)

**3月21日(火祝) 松伏町 松伏記念公園**  
**参加:27(会員22)名 天気:晴**

カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、バン、オオバン、タシギ、トビ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、アオジ(29種)(番外:ドバト) 当地では4年ぶりの探鳥会。確認された鳥種は、いわゆる普通種ばかりではあった。しかし、冬季とは違うその鳴き声、羽毛や嘴の色、行動等に注目することにより、季節の変化を感じていただけたことと思っている。(山部直喜)

**3月25日(土) 加須市 渡良瀬遊水地**  
雨のため中止。(佐野和宏)

**4月2日(日) 北本市 石戸宿**  
**参加:60(会員50)名 天気:曇**

コジュケイ、キジ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシ

ブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ヒレンジャク、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、セグロセキレイ、ビンズイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(33種)(番外:ガビチョウ) 久々のフリー開催で懐かしい顔も多数。桜は満開を過ぎ、蒲桜に行かない通常コースで開催。12月の探鳥会に出たビンズイの群れを同場所で再び確認。シロハラ、ツグミ、ジョウビタキもまだいた。3月初めから飛んでいたヒレンジャクの群れがまだいたのに感激。(吉原俊雄)

**4月2日(日) さいたま市 民家園周辺**  
**参加:24(会員18)名 天気:晴**

コジュケイ、キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、コサギ、オオバン、オオタカ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ(29種)(番外:ドバト) 3年ぶり開催の4月の民家園。桜もまだ咲き誇っていて、他の花々もたくさん咲いていた。鳥は、1種目が電線で休んでいたツバメ。空高く鳴くヒバリ、チョウゲンボウもゆっくり観られた。春の香りを感じながら見沼田んぼの環境を楽しめたと思う。(伊藤芳晴)

**4月8日(土) 東京都 裏高尾植物観察会**  
**参加:23(会員23)名 天気:曇**

〈見られた花〉タカオスミレ、ヒメスミレ、マルバスマスミレなどスミレ科8種、イチリンソウ、トウゴクサバノオなどキンポウゲ科4種、コチャルメルソウ、ヨゴレネコノメなどユキノシタ科3種、他にヤマエンゴサク、ラショウモンカズラ、レンプクソウ、フデリンドウなど(40種以上) 高尾駅から日影沢キャンプ場までを歩く。昨年と同じ時季であるが、去年はたくさん咲いていたアオイスミレは既に花期が終わっていた。今年は季節の進み方が早い。植物も鳥と同じく、行けば必ず会えるものではない。(小林みどり)

**4月15日(土) 春日部市 内牧公園**  
雨のため中止。(石川敏男)

**4月16日(日) さいたま市 三室地区**

**参加:45(会員37)名 天気:曇後晴**

キジ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、コチドリ、オオタカ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、セッカ、ムクドリ、ツグミ、インビヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(29種)(番外:ドバト) ヒバリやホオジロのさえずりにキジの雄叫び(これもさえずり?)が加わり、にぎやかな見沼の農耕地と芝川土手を散策した。途中、市立病院の屋上にインビヨドリ!コチドリも現れて、金色のアイリングをじっくり観察。(浅見 徹)

**4月22日(土) さいたま市 大宮第二公園**

**参加:50(会員37)名 天気:曇**

カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、カワセミ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、アオジ(25種)(番外:ドバト) 身近な公園で渡り途中の夏鳥の声をと計画した探鳥会だったが、大外れ。聞こえるのはウグイスの囀りだけ。寒さと強い北風に完敗! 地面スレスレを飛び回っていたツバメ10+がレンガ舗装の地面に降り立ち、じっと座り込んでしまった。寒さのせい? 渡りで疲れ切った? ツグミとコガモはまだ残っていた。来年は、開催時季、目的を再検討します。(浅見 徹)

**4月23日(日) 栃木県 小倉山森林公園**

**参加:21(会員21)名 天気:晴**

キジ、キジバト、トビ、コゲラ、アカゲラ、サンショウクイ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、ハクセキレイ(20種)(番外:ドバト、ガビチョウ) 例年より葉の繁り具合は1週間程早い感じである。現地のカメラマンによると鳥の具合は1週間ほど遅いとのこと。予感通り鳥がいない…。出現鳥にはオオルリ・キビタキ・サンショウクイと記入しているが、オオルリは数羽。キビタキは一瞬。サ

ンショウクイも上空をヒンカラヒンカラと鳴きながら飛び、枝に止まっているのは1羽のみであった。残念無念。(青木正俊)

**5月13日(土) 長野県 中軽井沢 Ladies'**

**参加:14(会員12)名 天気:曇**

キジ、カルガモ、キジバト、カクコウ、トビ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、モズ、カケス、オナガ、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、ゴジュウカラ、ミソサザイ、ムクドリ、コムクドリ、カワガラス、クロツグミ、コルリ、ジョウビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ(42種)(番外:ドバト) 曇後雨という予報で参加者が少なかったが、探鳥には理想的な人数。葉が茂り鳥の声を楽しめればと思っていたが、声は勿論キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、クロツグミの他、アカゲラ、カワガラス等の姿を全員で見ることが出来た。特にキビタキは多く、別荘地の道路上で採餌しているのもじっくり観察することが出来た。ハルニレテラスで昼食後、雨が降り始め、野鳥の森へは入らず早めに解散。(吉原早苗)

**5月14日(日) 加須市 加須はなさき公園**

**参加:18(会員16)名 天気:曇**

キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、ダイサギ、カワセミ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ(21種) 開始時はムクドリのみ。池に着いた途端にカワセミが飛び出てきた。公園の中は静かでもいつものシジュウカラ、ヒヨドリが観られ、特にムクドリが賑やかに飛んでいた。新しい道路を越えて進み、キジ、オオヨシキリ、セッカの遠い鳴き声が聴かれた。鳥合わせの時にセグロセキレイ、オナガも出現した。(茂木幸蔵)

**5月20-21日(土-日) 長野県 戸隠高原**

**参加:19(会員19)名 天気:晴**

オシドリ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ホトギ

ス、ツツドリ、カッコウ、アマツバメ、ハチクマ、トビ、ハイタカ、ノスリ、アカショウビン、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、モズ、カケス、ハシブトガラス、キクイタダキ、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ゴジュウカラ、キバシリ、ミソサザイ、クロツグミ、アカハラ、コルリ、コサメビタキ、キビタキ、ニューナイスズメ、キセキレイ、カワラヒワ、ウソ、イカル、ホオジロ、ノジコ、アオジ(50種)植物園の入り口ではキセキレイが出迎え。みどりが池ではキンクロハジロの番が採餌中。ここでは初めてかもしれない。鏡池への途中でウソの群れ、鏡池では常連のオシドリ。帰りには、上空にハイタカ、営巢中のゴジュウカラを観察。翌日の早朝、宿の門を出たところで昨年に続いてアカショウビンの声。早朝の植物園ではミソサザイ、ノジコ、キビタキ、アカハラ、ニューナイスズメの囀りと姿を楽しんだ。コルリの姿は、朝食後の再チャレンジで全員が見ることができた。キャンプ場ではお約束のハチクマが見られた。(菱沼一充)

5月21日(日)  
群馬県板倉町 渡良瀬遊水地 Young  
参加:18(会員14)名 天気:晴

キジ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、カッコウ、コチドリ、コアジサシ、トビ、ノスリ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、メジロ、オオセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(30種) 久々の東京支部との共催。両支部合わせて30名以上の参加者となった。オオヨシキリに始まり、草原の茶色い鳥4種(オオセッカ、セッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ)をしっかりと見ることができた。(廣田純平)

5月21日(日) さいたま市 三室地区  
参加:41(会員27)名 天気:曇時々晴

キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、コサギ、コチドリ、オオタカ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(22種)

(番外:ドバト) 最初の畑ではホオジロやカワラヒワが出迎えてくれた。水を張った田んぼにはカルガモ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ムクドリが。お目当てのコチドリもここで見られた。しばらく移動すると至近距離にヒバリが。キジ雄も姿を見せてくれた。暑くなってきたので、早めに切り上げたが、この時季らしい鳥たちに出会えた。(須崎 聡)

5月28日(日) 狭山市 入間川  
参加:37(会員31)名 天気:曇

キジ、マガモ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ヒメアマツバメ、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(29種)(番外:ドバト) 期待したこの時季定番のササゴイの姿なく、賑やかな筈のオオヨシキリもとんと鳴りを潜め、いささか物寂しい。数年前の台風でヨシ原が減少したことが影響しているのだろうか? かわりに楽しませてくれたのはセッカ。さえずり飛翔を何度か確認できたのは嬉しかった。

「さえずりは心地良しとは言えねども 啼かねば寂し五月(さつき)のヨシキリ」(石光 章)

6月3日(土) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地  
雨のため中止。(佐野和宏)

6月4日(日) 北本市 石戸宿  
参加:55(会員49)名 天気:晴

キジ、カルガモ、キジバト、アオサギ、ホトギス、トビ、ノスリ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(23種+ムシクイ科不明種)(番外:ガビチョウ) かわせみ池でカワセミ、エナガの幼鳥多数が梢近くを渡る。河川敷で上空にノスリ。一夜堤近くでホトギスの大きな声。高尾の池でオオヨシキリ。この時季は桑の実が熟し、集まるハシブトガラスが騒がしい。普段は居ないハシボソガラス、ムクドリ、スズメも入るが、桑の実が無くなると静かになる。(吉原俊雄)



## 連絡帳

### ●今年の川越市伊佐沼花火大会は中止になりました

本年1-2月号と3-4月号の本欄で、サギ類への悪影響を避けるため、川越市伊佐沼花火大会の中止または会場変更を求める要望書を、当会から川越市長あてに提出し、同市長から「花火大会は、野鳥等の生態系への影響をはじめ、会場の狭さなど諸問題があります。担当部局とも検討を進め、懸案事項の解決に努めて参りますので、ご理解をお願いします。(要旨)」との回答が届いたことまでお伝えしましたが、その後特に連絡等はなく、しばらくしてから見た同市のサイトには、「伊佐沼公園周辺道路の交通渋滞などのため、2023年の花火大会は中止になりました」とありました。

### ●見沼さぎやま交流広場出張企画「すごいぞ!見沼たんぼ」2023@さいたま新都心公園に参加



9月10日(日)10:00～15:00、同交流広場担当の浅見徹幹事をはじめとする会員計8名がさいたま新都心公園に集まり、「強烈な

日差しのもと、大盛況とは言えないものの、野鳥に興味のある方への情報提供と、野鳥グッズのそこそこの売り上げをあげることができました。次は11月4日(土)-5日(日)、さぎ山記念公園での秋フェスに出展予定」とのことです。

### ●会員数は

10月2日現在1,450人です。

## 活動報告

7月25日(火)14時～16時、埼玉教育会館301会議室で開催された令和5年度第1回埼玉県カワウ対策協議会に、当会推薦の鳥獣保護管理員佐野和弘が出席し、「令和5年度カワウ生息状況調査、県内カワウ対策状況、カワウ生息管理の現状」等についての協議に参加した。

9月3日(日)9時30分～11時45分、北本市・埼玉県自然学習センター会議室でリーダー研修会を開催。5名の新人リーダーが誕生した。

10月10日(火)～12日(木)、メール交換による役員会を開催。普及部上程の令和6年1～2月探鳥会計画(案)を承認した。

## 編集後記

長年使い慣れたパソコンが突然動かなくなった。データなどは、パソコン内には一切保存せず、外付けハードディスクに保管しておいたのでなんとかなったが、もしもパソコン内しか保存していなかったら、どうなっていただろう。ぞっとする。昔々の苦い経験が役に立った。(海)

しらこぼと 2023年11-12月合併号(第461号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org 編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org またはTEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。